

菊池家文書（追加寄贈分）目録 1番～327番（483点）

※2021年度・2022年度にかけて、東野将伸が担当した実践演習（日本史）（古文書演習）の一環として、学生が目録カードを作成した。目録の確認・修正とデータ打ち込みは東野が行った。

番号	標題	年代	形態	数量	委出	宛名	内容	備考
1	大正貳年癸丑壹月吉祥日 当座帳	大正2年1月	横帳	1冊	菊池良策	—	—	（裏表紙）「大福入 菊池良策」
2	昭和七年八年壬申壹月吉祥日 萬壽引覽帳	昭和7～同8年	横帳	1冊	菊池武男	—	—	（裏表紙）「宝来山 菊池武男」
3	大正六年丁巳九月 第貳号 注文帳	大正6年8月24日～同7 年1月23日	横半帳	1冊	山田西谷 菊池酒店	—	—	（裏表紙）「山田西谷 菊池酒店」
4	[]年 判取帳	（近代）	横半帳	1冊	岡山県吉備郡山田村909番地 菊池良策	—	—	（裏表紙）「岡山県吉備郡山田村九百九番地 菊池良策（カ）」
5	流賃物品売払帳	明治36年4月	横半帳	1冊	営業人 菊池竹	—	—	（裏表紙）「大福入」
6	大正五年下半年 書掲帳 山田西谷 山北	大正5年	横半帳	1冊	—	—	—	—
7	書出帳 山田西谷 川西	大正11年1月	横半帳	1冊	—	—	—	—
8	大正九年上半期 書出帳 山田西谷 村内	大正9年	横半帳	1冊	—	—	—	—
9	大正五年下半年 書掲帳 山田西谷 川東	大正5年	横半帳	1冊	—	—	—	—
10	大正五年下半年 書掲帳 山田西谷 村内	大正5年	横半帳	1冊	—	—	—	—
11	大正七年上半期 書掲帳 山田西谷 山南	大正7年	横半帳	1冊	—	—	—	下部破れ有り
12-1	大正六年下半年 書掲帳 山田西谷 川東	大正6年	横半帳	1冊	—	—	—	12-1～6綴り紐が一括り
12-2	大正六年下半年 書掲帳 西谷 村内	大正6年12月	横半帳	1冊	—	—	—	虫損あり
12-3	大正六年下半年 書掲帳 山田西谷 新本	大正6年	横半帳	1冊	—	—	—	—
12-4	大正六年下半年 書掲帳 山田西谷 川西	大正6年	横半帳	1冊	—	—	—	—
12-5	大正六年下半年 書掲帳 山田西谷 山南	大正6年	横半帳	1冊	—	—	—	—
12-6	大正六年下半年 書掲帳 山田 西谷 山北	大正6年	横半帳	1冊	—	—	—	—
13	[大正五年 金銭当座帳]	大正5年	横半帳	1冊	菊池	—	—	表紙「丙辰年二月起」、裏表紙「宝来山 菊池」
14	大正六年上半期 書掲帳 山田西谷 村内	大正6年	横半帳	1冊	—	—	—	—
15	京都府下 人民告諭大意 菊池写	明治2年	縦帳	1冊	—	—	—	表紙「菊池写」
16	（地租領収証）	明治44年	綴り	1綴り	山田村収入役 福田頼平	—	—	9枚1綴り
17-1	大正九年上半期 書出帳 山田西谷 山北川東ノ部	大正9年	横半帳	1冊	—	—	—	17-2～7とひとまとめ
17-2	大正七年下半年 書掲帳 山田西谷 新本之部	大正7年	横半帳	1冊	—	—	—	17-2～7綴り紐が一括り
17-3	大正七年下半年 書掲帳 山田西谷 山南之部	大正7年	横半帳	1冊	—	—	—	—
17-4	大正七年下半年 書掲帳 山田西谷 山北之部	大正7年	横半帳	1冊	—	—	—	—
17-5	大正七年下半年 書掲帳 山田西谷 川東之部	大正7年	横半帳	1冊	—	—	—	—
17-6	大正七年下半年 書掲帳 山田西谷 村内之部	大正7年	横半帳	1冊	—	—	—	—
17-7	大正七年下半年 書掲帳 山田西谷 川西之部	大正7年	横半帳	1冊	—	—	—	—
18	女小字	天保2年2月12日	縦帳	1冊	—	—	—	表紙「菊池」
19	大正六年 水車場帳	大正6年	横半帳	1冊	—	—	—	裏表紙「山田西谷」
20	大正拾年八月 書出帳 山 田西谷 新本	大正10年8月	横半帳	1冊	—	—	—	—
21	大正五年下半年 書掲帳 山田西谷 新本	大正5年	横半帳	1冊	—	—	—	—
22	大正五年下半年 書掲帳 山田西谷 山南	大正5年	横半帳	1冊	—	—	—	—
23	大正五年下半年 書掲帳 山田西谷 川西	大正5年	横半帳	1冊	—	—	—	—
24	大正八年上半期 書掲帳 山田西谷 新本之部	大正8年	横半帳	1冊	—	—	—	—
25	西一月 書出帳 山田西谷 川西 山北	酉（近代）年	横半帳	1冊	—	—	—	—
26	大正九年上半期 書上帳 山田西谷 川西之部	大正9年	横半帳	1冊	—	—	—	—
27	大正五年上半期 書掲帳 山田西谷 川西	大正5年	横半帳	1冊	—	—	—	—
28	大正八年上半期 書掲帳 山田西谷 山北之部	大正8年	横半帳	1冊	—	—	—	—
29	大正八年上半期 書掲帳 山田西谷 川西之部	大正8年	横半帳	1冊	—	—	—	—
30	大正七年上半期 書掲帳 山田西谷 新本	大正7年	横半帳	1冊	—	—	—	—
31	大正七年上半期 書掲帳 山田西谷 川東	大正7年	横半帳	1冊	—	—	—	—
32	大正七年上半期 書掲帳 山田西谷 村内	大正7年	横半帳	1冊	—	—	—	—
33	大正七年上半期 書掲帳 山田西谷 川西	大正7年	横半帳	1冊	—	—	—	—
34	大正六年 注文帳	大正6年	横半帳	1冊	—	—	—	裏表紙「[] 菊池酒店（カ）」
35	奉公袋	（近代）	袋	1点	菊池武男	—	—	収容品書付
36	〔瑞法院徳室妙龜大師香典 帳〕	（近代）	横帳	1冊	—	—	—	—
37	法皇院友瑠清光居士 行年 七十七歳 俗名菊池友三郎	昭和13年7月25日～27 日	横帳	1冊	—	—	香典帳	—

番号	標題	年代	形態	数量	差出	宛名	内容	備考
38	圓通院伏山自徳居士 俗名菊池伏一郎 行年五拾七歳	昭和6年4月30日～5月2日	横帳	1冊	—	—	香典帳	—
39	清照院眞月妙園大師 行年五拾七歳才 菊池良策妻俗名竹	明治40年8月31日～9月2日	横帳	1冊	—	—	香典帳	—
40	昭和五年三月拾日 御海委会葬者其他控簿	昭和5年3月10日	横帳	1冊	—	—	—	—
41	中興院徳翁良眞禪居士 行年七拾六歳 俗名菊池良策武通	昭和5年3月10日～3月13日	横帳	1冊	—	—	—	—
42-1	昭和四年 酒類御通 高本善太郎様 山田西谷	昭和4年	横半帳	1冊	—	—	—	42-1～89組一括
42-2	昭和三年 酒類御通 平川栄様 山田西谷	昭和3年	横半帳	1冊	—	—	—	—
42-3	昭和四年下半年期 書だし帳 下倉川東 山田西谷	昭和4年	横半帳	1冊	—	—	—	—
42-4	昭和四年下半年期 書だし帳 山南 山田西谷	昭和4年	横半帳	1冊	—	—	—	—
42-5	昭和二年 酒類御通 桑宅治様 山田西谷(谷)	昭和2年	横半帳	1冊	—	—	—	表紙一部破損
42-6	昭和四年 下半年期書だし帳 村内 山田西谷	昭和4年	横半帳	1冊	—	—	—	—
42-7	昭和四年下半年期 書だし帳 川西 山田西谷	昭和4年	横半帳	1冊	—	—	—	—
42-8	大正拾貳年下半年分 書出帳 村内 西谷	大正12年	横半帳	1冊	—	—	—	—
42-9	大正拾貳年下半年分 書出帳 山南 山田西谷	大正12年	横半帳	1冊	—	—	—	—
42-10	大正拾貳年下半年分 書出帳 新本 山田西谷	大正12年	横半帳	1冊	—	—	—	—
42-11	大正拾参年上半年期 書出帳 村内 山田西谷	大正13年	横半帳	1冊	—	—	—	—
42-12	大正拾参年下半年期分 書出帳 山北及其他 山田西谷	大正12年	横半帳	1冊	—	—	—	—
42-13	大正拾参年下半年期分 書出帳 川西 山田西谷	大正12年	横半帳	1冊	—	—	—	—
42-14	大正拾参年上半年期 書出帳 山南 山田西谷	大正13年	横半帳	1冊	—	—	—	—
42-15	大正拾参年上半年期 書出帳 川西 山田西谷	大正13年	横半帳	1冊	—	—	—	—
42-16	大正拾参年上半年期 書出帳 新本 山田西谷	大正13年	横半帳	1冊	—	—	—	—
42-17	大正拾参年上半年期 書出帳 山北 山田西谷	大正13年	横半帳	1冊	—	—	—	—
42-18	大正拾年 酒類御通 加藤高蔵様 山田西谷	大正10年	横半帳	1冊	—	—	—	—
42-19	昭和四年八月 書出帳 川西 山田西谷	昭和4年8月	横半帳	1冊	—	—	—	—
42-20	昭和四年二月 書出帖 新本 山田西谷	昭和4年2月	横半帳	1冊	—	—	—	—
42-21	昭和三年八月 書出帳 山南 山田西谷	昭和3年8月	横半帳	1冊	—	—	—	—
42-22	大正拾四年 酒類御通 山本清一様 山田西谷	大正14年	横半帳	1冊	—	—	—	—
42-23	大正十五年 酒類御通 小野松一郎様 山田西谷	大正15年	横半帳	1冊	—	—	—	—
42-24	大正拾五年上半年期 書出帳 新本 西谷	大正15年	横半帳	1冊	—	—	—	—
42-25	大正拾参年下半年期分 書出帳 新本ヨリ南 山田西谷	大正13年	横半帳	1冊	—	—	—	—
42-26	大正拾五年上半年期 書出帳 山北 山田西谷	大正15年	横半帳	1冊	—	—	—	—
42-27	大正拾四年 酒類御通 名木田仙蔵様 山田 西谷	大正14年	横半帳	1冊	—	—	—	—
42-28	大正拾五年上半年期 書出帳 村内 西谷	大正15年	横半帳	1冊	—	—	—	—
42-29	昭和二年一月 書出帳 川西 山田西谷	昭和2年1月	横半帳	1冊	—	—	—	—
42-30	昭和二年一月 書出帳 山南 山田西谷	昭和2年1月	横半帳	1冊	—	—	—	—
42-31	昭和二年一月 書出帳 新本 山田西谷	昭和2年1月	横半帳	1冊	—	—	—	—
42-32	大正拾参年下半年期分 書出帳 村内 西谷	大正13年	横半帳	1冊	—	—	—	—
42-33	大正十四年八月 書出帳 村内 西谷	大正14年8月	横半帳	1冊	—	—	—	—
42-34	大正十四年八月 書出帳 山南 山田西谷	大正14年8月	横半帳	1冊	—	—	—	—
42-35	大正十四年八月 書出帳 新本 山田西谷	大正14年8月	横半帳	1冊	—	—	—	—
42-36	昭和二年 酒類御通 東蔵造様 山田西谷	昭和2年	横半帳	1冊	—	—	—	—
42-37	大正拾参年下半年期分 書出帳 川西及其他 山田西谷	大正13年	横半帳	1冊	—	—	—	—
42-38	昭和三年一月 書出帳 山南 山田西谷	昭和3年1月	横半帳	1冊	—	—	—	—
42-39	大正十一年戌九月ヨリ 金入帳 山田西谷	大正11年9月	横半帳	1冊	—	—	—	—
42-40	貳年 金入帳 山田西谷	(大正)2年	横半帳	1冊	—	—	—	表紙右部の一部破損
42-41-1	大正拾宅年九月 書出帳 村内 西谷	大正11年9月	横半帳	1冊	—	—	—	42-41-1～8綴り綴をひとまとめに括っている
42-41-2	大正拾宅年九月 書出帳 新本 山田西谷	大正11年9月	横半帳	1冊	—	—	—	—
42-41-3	大正拾宅年九月 書出帳 川西 山田西谷	大正11年9月	横半帳	1冊	—	—	—	—
42-41-4	大正十一年下半年期 書出帳 新本 山田西谷	大正11年9月	横半帳	1冊	—	—	—	表紙に「書出帳 岡山県吉備 太田有之」とボールペン書付あり

番号	標題	年代	形態	数量	差出	宛名	内容	備考
42-41-5	大正十一年下半年期 書出帳 山南 山田西谷	大正11年	横半帳	1冊	—	—	—	—
42-41-6	大正十一年下半年期 書出帳 村内 西谷	大正11年	横半帳	1冊	—	—	—	—
42-41-7	大正十一年下半年期 書出帳 川西 山田西谷	大正11年	横半帳	1冊	—	—	—	—
42-41-8	大正拾老年戌九月 書出帳 山南 山田西谷	大正11年9月	横半帳	1冊	—	—	—	—
42-42	明治四拾五年 大正貳年 六月二十八日起 羽白町水 番和帳	明治45年6月28日～大 正2年	横半帳	1冊	—	—	—	—
42-43	明治三十九年改 定毛 神 田小作人及反別地利米扣	明治39年	横半帳	1冊	—	—	—	—
42-44	大正拾二年八月 書出帳 新本 山田西谷	大正12年8月	横半帳	1冊	—	—	—	—
42-45	大正十二年八月 書出帳 山南 山田西谷	大正12年8月	横半帳	1冊	—	—	—	—
42-46	昭和十一年上半年期 書出帳 村内 山北 山田西谷	昭和11年	横半帳	1冊	—	—	—	—
42-47	第百二十八号 聖觀世音本 堂改築寄附芳名簿 岡山県 吉備郡山田村善福寺	(近代)	横半帳	1冊	—	山田村善福寺 住職 菊池 則道	—	印刷物
42-48	[人名・日付・人数書上]	(近代)	綴り	1綴り	—	—	「守屋元市 十月十二日 老人」以下人 名・日付・人数書き上げ	—
42-49	昭和六年九月始 金銭収納 帳	昭和6年9月	横半帳	1冊	—	—	—	—
42-50	昭和五年上半年期分 書出帳 川西 山田西谷	昭和5年9月	横半帳	1冊	—	—	—	—
42-51	昭和五年上半年期分 書出帳 新本 山田西谷	昭和5年9月	横半帳	1冊	—	—	—	—
42-52	昭和五年上半年期分 書出帳 村内 山田西谷	昭和5年9月	横半帳	1冊	—	—	—	—
42-53	昭和四年下半年期 書だし帳 新本 山田西谷	昭和4年	横半帳	1冊	—	—	—	—
42-54	昭和二年 酒類御通 平井 品二様 山田西谷	昭和2年	横半帳	1冊	—	—	—	—
42-55	昭和三年八月 書出帳 新 本 山田西谷	昭和3年8月	横半帳	1冊	—	—	—	裏表紙「書出帳」
42-56	昭和三年八月 書出帳 山 北 山田西谷	昭和3年8月	横半帳	1冊	—	—	—	—
42-57	昭和三年八月 書出帳 川 東 山田西谷	昭和3年8月	横半帳	1冊	—	—	—	—
42-58	昭和四年二月 書出帳 山 南 山田西谷	昭和4年2月	横半帳	1冊	—	—	—	—
42-59	昭和三年八月 書出帳 村 内 西谷	昭和3年8月	横半帳	1冊	—	—	—	—
42-60	昭和四年八月 書出帖 山 南 山田西谷	昭和4年8月	横半帳	1冊	—	—	—	—
42-61	昭和三年八月 書出帳 川 西 山田西谷	昭和3年8月	横半帳	1冊	—	—	—	—
42-62	昭和四年二月 書出帳 村 内 山田西谷	昭和4年2月	横半帳	1冊	—	—	—	—
42-63	大正拾四年八月 書出帳 山北 山田西谷	大正14年	横半帳	1冊	—	—	—	—
42-64	大正拾四年下半年期 書出し 帳 久代以東 山田西谷	大正14年	横半帳	1冊	—	—	—	—
42-65	大正拾四年下半年期 書出し 帳 新本 山田西谷	大正14年	横半帳	1冊	—	—	—	—
42-66	昭和四年八月 書出帳 新 本 山田西谷	昭和4年8月	横半帳	1冊	—	—	—	—
42-67	昭和二年八月 書出帳 川 東 山田西谷	昭和2年8月	横半帳	1冊	—	—	—	—
42-68	昭和二年八月 書出帳 山 南 山田西谷	昭和2年8月	横半帳	1冊	—	—	—	—
42-69	昭和二年八月 書出帳 村 内 山田西谷	昭和2年8月	横半帳	1冊	—	—	—	—
42-70	昭和二年八月 書出帳 新 本 山田西谷	昭和2年8月	横半帳	1冊	—	—	—	—
42-71	昭和二年八月 書出帳 川 西 山田西谷	昭和2年8月	横半帳	1冊	—	—	—	—
42-72	昭和二年一月 書出帳 村 内 西谷	昭和2年1月	横半帳	1冊	—	—	—	—
42-73	大正拾四年下半年期 書出し 帳 山南 山田西谷	大正14年	横半帳	1冊	—	—	—	—
42-74	大正拾参年下半年期分 書出 帳 山北 山田西谷	大正13年	横半帳	1冊	—	—	—	—
42-75	大正拾参年下半年期分 書出 帳 新本村分 山田西谷	大正13年	横半帳	1冊	—	—	—	—
42-76	大正拾四年下半年期 書出し 帳 村内 西谷	大正14年	横半帳	1冊	—	—	—	—
42-77	大正九年 酒類御通 矢吹 長治様 山田西谷	大正9年	横半帳	1冊	—	—	—	—
42-78	大正拾年 酒類御通 桑宅 治様 山田西谷	大正10年	横半帳	1冊	—	—	—	—
42-79	大正九年 酒類御通 金沢 仙三郎様 山田西谷	大正9年	横半帳	1冊	—	—	—	—
42-80	大正十老年 酒類御通 中 村松之丞様 山田西谷	大正11年	横半帳	1冊	—	—	—	—
42-81	昭和四年二月 書出帖 川 西 山田西谷	昭和4年2月	横半帳	1冊	—	—	—	—
42-82	昭和四年二月 書出帳 川 東 山田西谷	昭和4年2月	横半帳	1冊	—	—	—	—
42-83	昭和四年八月 書出帳 川 東 山田西谷	昭和4年8月	横半帳	1冊	—	—	—	—
42-84	昭和三年一月 書出帳 新 本 山田西谷	昭和3年1月	横半帳	1冊	—	—	—	—

番号	標題	年代	形態	数量	差出	宛名	内容	備考
42-85	昭和三年一月 書出帳 川西 山田西谷	昭和3年1月	横半帳	1冊	—	—	—	—
42-86	昭和三年一月 書出帳 川東 山田西谷	昭和3年1月	横半帳	1冊	—	—	—	—
42-87	昭和三年一月 書出帳 村内 西谷	昭和3年1月	横半帳	1冊	—	—	—	—
42-88	昭和三年 酒類御通 長田和一郎様 山田西谷	昭和3年	横半帳	1冊	—	—	—	—
42-89	昭和四年八月 書出帳 村内 山田西谷	昭和4年8月	横半帳	1冊	—	—	—	—
43	都染 鷹乃羽	(近代)	縦帳	1冊	京都染業元 塚本喜左衛門	—	染物の商品カタログ	—
44	〔書付〕	(近代)	一紙	1通	—	菊池	昨日のことにつき礼。書面の事につき承知、いずれ会って話をしたいこと	包紙上書「菊池様 貴客」
45	御悦 越超	未詳	包紙	1点	越超	—	—	包紙のみ
46-1	〔祝詞〕	(近代)	一紙	1通	—	—	宇津大神の分量に対する家内安全家業繁栄の祝文	—
46-2	祝文	(近代)	一紙	1通	—	—	菊池龍武による家を建て替える際の祝詞	—
47	〔御守〕	(近代)	一紙	1枚	—	—	白紙、切紙内部に御守あり	—
48	出雲大社御守	(近代)	御守	1点	菊池義治郎	田丸栄治郎	田丸栄治郎へ宛てた出雲大社御守	封筒上書「備中小田郡小田村田丸栄治郎様 大社御守在中」
49	呉服商報 第十二号	明治35年4月25日	一紙	1枚	高原呉服店	—	呉服の流行に関する記事と高原呉服店の広告	—
50	〔袋〕(「印影 備中玉島通町 印刷彫刻所 梧間荘」)	(近代)	袋	1点	—	—	印影	裏面「拾武銭 右正ニ受申候也」
51	〔手習い〕(漢詩の一部)	(近代)	一紙	1枚	—	—	野花無主為・・・	—
52-1	寛	(近世)	一紙	1枚	—	—	申年の麦やえなどの穀物の買入代金	—
52-2	寛	(近世)	一紙	1枚	—	—	金物他の買入代金	—
53	〔書状〕	(近世) 3月24日	一紙	1通	—	—	村方の人数の調整とその人数についての相談	端裏書「久代へ返すひかへ」
54	〔袋〕(蒸気丸)	(近代)	袋	1点	—	—	袋の機能と用法が書かれている。制作者に高木作衛	紐が2つ入っていた
55	〔書付〕	(近世)	一紙	1通	高木宇吉郎	山田庄や	大麦1石の価格と駄賃の書上	一部破れあり
56	〔書付〕	(近世)	一紙	1通	山田庄蔵	山田庄や	大麦1石3斗の代金とその駄賃	—
57	〔菊池貞兵衛、渡邊九兵衛宛田邊和太衛門書状〕	(年未詳) 3月27日	一紙	1通	田邊和太衛門	菊池貞兵衛、渡邊九兵衛	借入額と返金についてのうかがい	端裏書「三月廿七日 田邊が来ル状写」
58	安政四巳八月 後年凶作其外非常為手当困致々条書写 菊池	安政4年8月	横半1冊	1冊	—	—	凶作など非常時における困りについて	—
59	〔渡辺宛田辺返書〕	(年未詳) 3月23日	一紙	1通	田辺	渡辺	今年の作物と村々の割増金についてご沙汰いただきたいこと	端裏書「田辺を渡辺江之返書被■申候ニ付写置」
60	〔菊池宛義兵衛書状〕	(近代) 28日	一紙	1通	菊池	義兵衛	区長の事について懇意の行き届かなかったが至急入札してほしいこと	端裏書「菊池様 義兵衛拜」
61	〔区別人名書付〕	(近代)	一紙	1通	—	—	「一区太田友藏」ほか8名書き上げ	—
62	〔菊池義太郎宛白神修平書状〕	(近代) 10月10日	一紙	1通	白神修平	菊池義太郎	下道郡より出金額不致の連絡につき	一部破れあり
63	〔菊池宛板野忠次郎書状〕	(近代) 7月25日	一紙	1通	板野忠次郎	菊池	出勤と帰村の報告、6月分諸進達について	—
64	〔小袋〕	(近代)	袋	1点	—	—	広告の袋で作られた小袋	—
65-1	〔菊池宛高原茂一書状〕	(近代) 12月22日	一紙	1通	高原茂一	菊池	15名分の金子書付	65-1～6袋入り一括
65-2	〔金子書上〕	(近代)	一紙	1通	—	—	金銭書付2冊	—
65-3	〔高原氏代金書上〕	(明治) 29年旧4月23日～同30年旧10月24日	一紙	1通	—	—	代金書き上げ	—
65-4	記(高原茂市氏代金書上)	(近代) 4月22日	一紙	1通	—	—	—	—
65-5	記(高島代金書上)	明治29年4月12日	一紙	1通	—	—	—	—
65-6	〔金子書付〕	明治21年旧11月29日	群紙	1通	菊池	高原茂市	代金書き上げ	—
66	角三和原源兵衛之計	(近代)	一紙	1綴り	—	—	代金等書き上げ	白紙と2紙1綴り
67	〔用紙〕(内用薬法用産科婦人科 児島醫院)	(大正)	一紙	2通	児島醫院	—	—	2通ひとまとめ
68	〔名刺〕(鶴見源三郎)	(近代)	一紙	1枚	—	—	「川上郡富家村大字布真」	—
69	〔名刺〕(菊池義太郎)	(近代)	一紙	1枚	—	—	—	—
70	〔書付〕	(未詳)	一紙	1通	戎や庄右衛門	山田村庄屋	—	右部分破損
71	〔書付類〕	(近世)	一紙	1巻	—	—	蔵米等受取(吟味役⇒山田村庄屋中など)	—
72	〔木札〕(「宇津神社祭典係 菊池義太郎 安芸国豊田郡大長村」)	(未詳)	木札	1点	—	—	—	—
73	〔手習い〕(漢詩の一部)	(未詳)	一紙	1枚	—	—	村外雪消山色静 窓前春浅竹声寒・・・	—
74-1	〔書付〕	籍年2月19日	一紙	1通	玉島間屋場 松田徳善	下かこ屋浅右衛門	荷物を積み送るため、受けとってほしい旨	前欠、74-1～2重ね折り一括
74-2	〔書付〕	—	一紙	1通	—	—	「和年、利久門、兵衣」他人名28筆	—
75	〔白紙〕	—	一紙	1枚	—	—	—	中に「二印」の記載あり
76	〔白紙〕	—	一紙	1枚	—	—	—	—
77	〔白紙〕	—	一紙	1枚	—	—	—	—
78	現金 正札 営業品相場報告	明治34年2月	縦帳	1冊	備中高梁本町 杉山彦太郎(杉山呉服店)	—	杉山呉服店の品物値段書きなど	—
79	〔白紙〕	—	一紙	1枚	—	—	—	—
80	〔仏典〕	文政叢	折本	1冊	—	—	仏典、皇都書肆 山田文成堂版元	表紙脱落
81	〔袋〕	(近代)	袋	1点	綱嶋宗介	山田村庄屋	—	中身なし
82-1-1	〔関家家族構成〕	(近代)	群紙	1通	関源五郎	高塚芳三郎	—	82-1～9袋入り、82-1-1～2封筒入り
82-1-2	〔菊池御隠居宛坪井格兵衛書状〕	(近代) 10月19日	一紙	1通	坪井格兵衛	菊池隠居	縁談について関へ相談	—
82-2	〔菊池老大人宛坪井格兵衛書状〕	(近代) 10月27日	一紙	1通	坪井格兵衛	菊池老大人	縁談一時見合わせについて	封筒上書「山田 菊池御老人様 御貴下」、封筒裏書「坪井格兵衛」
82-3	〔履歴書〕	明治32年8月25日	群紙	1通	—	—	菊池義太郎四男武章24歳について	—
82-4	書上(「姫路衛成地現地兵員」)	(近代)	群紙	1通	—	—	旅団・連隊の人数など書き上げ	—
82-5-1	〔書上〕(岡山市大字児島町山崎重吉家)	(近代)	群紙	1通	—	—	—	82-5-1～2重ね折り一括
82-5-2	〔菊池老大人宛山崎重吉書状〕	(近代) 4月19日	群紙	1通	山崎重吉	菊池老大人	家業譲り渡しについて	—
82-6	〔連歌〕	(近代)	一紙	1通	清熙老人	—	菊池壮士の教導団入団を祝う歌	—
82-7	〔葉書〕	(明治) 32年8月29日	葉書	1通	菊池武章	菊池義太郎	鳥越氏の計らいについて	—
82-8	〔縁談証明書〕	明治33年3月5日	群紙	1通	—	—	菊池家・杉山家の縁談	82-8-1～82-8-2一括
82-8-1	〔杉山家家族構成〕	(近代)	一紙	1通	—	—	—	—
82-8-2	〔書付〕	(近代)	一紙	1通	—	—	杉山家の酒蔵、精米所大きさ	—

番号	標題	年代	形態	数量	差出	宛名	内容	備考
82-9	〔キクチリョウサク宛キクチタケアキ電報〕	(近代) 3月27日	一紙	1通	キクチタケアキ	キクチリョウサク	カエレスワケアト	日本政府電報送紙使用
83	〔仏典〕	(未詳)	折本	1冊	—	—	—	全体の一部分
84	〔筆記物〕	(未詳)	縦帳	1冊	—	—	北条時宗、箱根権現、赤坂合戦など、鎌倉後期～南北朝時代の内容の筆記物	—
85	〔山田村庄屋宛吟味役書状〕	(近世)	一紙	1通	吟味役	山田村庄屋	代銀の村継ぎについて	継ぎ外れ、虫損甚大
86	〔菊池義太郎宛浅尾戸長角田久成書状〕	(近代) 12月12日	一紙	1通	角田久成	菊池義太郎	米の受取、納める場所を1ヶ所に限る件について	—
87	〔書状〕	(近代)	一紙	1通	—	—	当蔵内の米200石ばかり入用のことについて 官員様出張のため答え兼ねること、内伺いの上で回答することなど	—
88	〔講加入者書上〕	(近世)	縦帳	1冊	—	—	川上郡中村寺番講など	—
89	〔断簡〕	(近代)	断簡	1枚	—	—	広島県安芸・・・など	破損甚大
90	〔手習い断簡〕	(未詳)	断簡	1枚	—	—	手習い(習字)	—
91	〔手習い断簡〕	(未詳)	断簡	1枚	—	—	手習い断簡、早朝を・・・	—
92	〔断簡〕	(未詳)	断簡	1枚	—	—	—	—
93	〔手習い断簡〕	(未詳)	断簡	1枚	—	—	—	—
94	〔正副戸長宛菊池義太郎書状〕	(近代) 10月8日	一紙	1通	菊池義太郎	正副戸長	徴兵年齢至急取調のこと	—
95	〔書付〕	(近代)	一紙	1通	—	—	西原吉と玉川村長折清吉の名記載あり	破損甚大
96	〔断簡〕	(未詳)	断簡	1枚	—	—	メモのようなもの	—
97	〔宇津神社御初穂用城人名〕	(近代)	一紙	1通	—	—	金額と人名書き上げ	—
98	〔杉東栄老郎宛藤沢保治書状〕	(近代)	一紙	1通	藤沢保治	杉東栄老郎	訪問の日程変更、物の受け渡しにつき	—
99	〔菊池大人宛高田弥吉書状〕	(近代) 12月5日	一紙	1通	高田弥吉	菊池大人	池田金造をお願いをしている間待っておい てほしい旨	—
100	〔封筒〕	(近代)	一括	一括 (24枚)	—	—	反故紙で封筒を作成している (24枚)	—
101	〔俳句〕	(未詳)	一紙	1枚	—	—	「稲の雨・・・」	—
102	〔岡伍介書状〕	(近代) 正月3日	一紙	1通	岡伍介	—	ご機嫌伺い	—
103	〔手習い〕	(近代)	縦帳	1冊	—	—	手紙の返事の下書き、川上郡中村などのこと について	—
104	〔笠岡村正副戸長宛小寺純一郎・菊池義太郎書状〕	(近代)	一紙	1通	小寺純一郎・菊池義太郎	笠岡村正副戸長	笠岡村の西江弥八、村上徳蔵、富士野治四郎 を出頭させてほしいこと	継ぎ外れ
105	〔名簿〕	(近代)	縦帳	1冊	—	—	様々な人物の住所と名前を記載したもの 久保君も一緒に帰宅すると思われるので久保君へ 詫言と執り成しを頼むことにつき	紙使用
106	〔菊池三辺(カ)書状〕	(近代) 7月31日	一紙	1通	三辺(カ)	菊池	—	—
107	〔断簡〕	(未詳)	一紙	1枚	—	—	白紙	—
108	〔明治三十四菊池家法要該当者書上〕	明治34年	一紙	1通	—	—	菊池全周10回忌	習紙使用
109	〔菊池義太郎宛駒場両七郎書状〕	(近代) 11月12日	一紙	1通	駒場両七郎	菊池義太郎	倉庫内の米の運搬につき	運搬要する追記された紙あり
110	〔菊池宛木谷(カ)唯四郎書状〕	(未詳)	一紙	1通	木谷(カ)唯四郎	菊池	坪のことについて意見が聞きたいので帰郷して ほしいこと	虫損
111	〔記〕(宇津神社秋大祭新暦開帳につき)	(明治カ)	一紙	1通	—	—	本年より新暦11月12日より開帳、松長より 出帆のこと	—
112	〔祖父宛菊池政夫書状〕	(未詳) 11月27日	一紙	1通	岡山にて 菊池政夫	祖父	川に入った際に時計の硝子が割れてしまっ たので、新しい時計を買ってほしいこと	—
113	〔金銭書上帳〕	(近代)	横帳	1冊	—	—	備中国小田郡、窪屋郡、川上郡、浅口郡など	—
114	〔書付〕	(未詳)	一紙	1通	—	—	本町松音 家本ダ 正物代 など	—
115	〔菊池大老宛て横田酒店書状〕	(近代) 11月9日	一紙	1通	横田酒店	菊池大老	病気が回復に向かい、引き続き安静にして ほしいこと	封筒書「山田村菊池御大老様 貴酬」、 封筒裏書「惣社山崎内にて横田酒店」
116	〔菊池宛白神修平書状〕	(近代) 11月5日	一紙	1通	白神修平	菊池	源作殿徴兵議員中御雇口当五十銭御渡しな ど	—
117	〔書付〕	(未詳)	一紙	1通	—	—	米の高と人名(清十郎)書付	白紙に包まれていた
118	〔断簡〕	(未詳)	断簡	1枚	—	—	印籠の試し捺しなど	—
119	〔絵画〕	(未詳)	一紙	1枚	—	—	戦いの場面	—
120	〔断簡〕	(未詳)	断簡	1枚	—	—	土地のことについて、持ち主菊池義太郎	—
121	〔断簡〕	(未詳)	断簡	1枚	—	—	竹林栄三郎の名前など	—
122	〔反古紙〕	(近世)	一紙	1枚	—	—	算用関係の一紙を反故紙としている、「極上紙」 などあり	—
123	〔包紙〕	(未詳)	断簡	1枚	—	—	山田村菊池義太郎など	—
124	〔書状〕	(未詳)	一紙	1通	—	—	給仕仕出しの件につき	—
125	〔断簡〕	(未詳)	断簡	1枚	—	—	外史	ほぼ白紙
126	〔断簡〕	(未詳)	断簡	1枚	—	—	—	—
127	〔袋カ〕	(未詳)	袋	1点	—	—	—	上書「山陰生人 上坂伝蔵 ひねり」
128	〔断簡〕	(未詳)	断簡	1枚	—	—	山田村柚木など	—
129	〔包紙〕	(未詳)	包紙	1点	—	—	入札組合中 五頭小西	—
130-1	〔書付〕	(未詳) 12月20日	断簡	1枚	—	—	「右皆様 他二」	破損大、断簡
130-2	〔書付〕	(近代)	断簡	1枚	—	—	「乙第七十五号 西谷区々戸長」の印字あり	断簡
130-3	〔書付〕	(未詳)	断簡	1枚	—	—	「里見八次伝巻■」の記載あり	破損大、断簡
131	〔断簡〕	(未詳)	断簡	1枚	—	—	書状の断簡	—
132	〔断簡〕	(未詳)	断簡	1枚	—	—	奉納上 御切替	—
133	〔断簡〕	(未詳)	断簡	1枚	—	—	山田村 菊池儀太郎様	—
134	〔宛〕	(未詳)	断簡	1枚	—	—	—	虫損により解読不能
135	〔書付〕	(未詳)	一括	3通	—	—	魚屋久米造の家族6人の生まれ年、年齢など について書き上げ	一紙3通が貼り付いている
136	〔嘉永三年戊三月廿九日 御借入銀被仰付依之御酒飯料被下候二付取計方諸覚帳〕	嘉永3年3月29日	横帳	1冊	山田村庄屋	—	—	—
137	〔俳句手習い〕	(未詳)	縦紙	1通	—	—	俳句4首書付	—
138	〔手習い類〕	(未詳)	1まとめ	1点	—	—	「虫の・・・」など	3枚あり
139	〔金銭関係書付〕	(近代) 2月23日	横帳	1冊	—	—	「入 十五銭 河内藤太郎」など	—
140	〔副戸長宛辻田村書状〕	(未詳)	一紙	1通	辻田村	副区長	徴兵のことについて	—
141	〔菊池宛中野久書状〕	(未詳)	一紙	1通	中野久	菊池	訪問の話	—
142	〔大正元年甲寅巻月吉祥日 萬差引覚帳〕	大正元年1月	横帳	1冊	—	—	—	裏書「蓬来山 菊池良策」
143	〔明治四拾五年 大正元年七月三十日ヨリ 壬子巻月吉祥日 起七月二十九日終 萬差引覚帳〕	明治45年1月～7月29日	横帳	1冊	—	—	—	裏書「大福入 菊池良策」
144	〔大正元年癸丑巻月吉祥日 萬差引覚帳〕	大正2年1月吉祥日	横帳	1冊	—	—	—	裏書「大福入 菊池良策」

番号	標題	年代	形態	数量	差出	宛名	内容	備考
145	大正拾四年乙丑巻月吉日 萬差引覚帳	大正14年1月吉日	横帳	1冊	—	—	—	裏書「寶来山 菊池良策」
146	大正拾余念乙丑巻月吉日 当座帳	大正14年1月吉日	横帳	1冊	—	—	—	裏書「大福入 菊池良策」
147	昭和五年庚午巻月吉日 萬差引覚帳	昭和5年1月吉日	横帳	1冊	—	—	—	裏書「寶来山 菊池仇一郎」
148	明治十一年一月ヨリ 貸付 書寄帳	明治11年	横帳	1冊	—	—	—	表紙左下部「此分年々新帳工写取手数為一 助以後此帳面幾年モ可相用事」、裏書「寶 来山 山田西谷酒場」
149	昭和六年辛未一月吉日 万 差引覚帳	昭和6年1月	横帳	1冊	—	—	—	裏表紙「大福入 菊池仇一郎」
150	大正十五年丙寅一月吉日 万覚帳	大正15年1月	横帳	1冊	—	—	—	裏表紙「大福入 菊池良策」、小口「大十 五」
151	大正拾老年一月 書出帳 村内西谷	大正11年1月	横半帳	1冊	—	—	—	—
152	大正拾年八月 書出帳 村 内西谷	大正10年8月	横半帳	1冊	—	—	—	—
153	大正拾老年一月 書出帳 山南山田西谷	大正11年1月	横半帳	1冊	—	—	—	—
154	大正拾老年一月 書出帳 新本山田西谷	大正11年1月	横半帳	1冊	—	—	—	—
155	大正五年上半年 書掲帳 村内山田西谷	大正5年上半年	横半帳	1冊	—	—	—	—
156	舊一月 書出帳 村内西谷	舊年1月	横半帳	1冊	—	—	—	—
157	大正九年上半年 書出帳 山南ノ部 山田 西谷	大正9年上半年	横半帳	1冊	—	—	—	—
158	大正八年上半年 書掲帳 川東之部 山田 西谷	大正8年上半年	横半帳	1冊	—	—	—	—
159	〔会計帳簿〕	(未詳)	横帳	1冊	—	—	米や稼代金など書き上げ	—
160	大正八年下半年 書掲帳 山南三部 山田 西谷	大正8年	横帳	1冊	—	—	—	—
161	大正八年上半年 書掲帳 村内三部 山田 西谷	大正8年	横帳	1冊	—	—	—	—
162	大正五年〔 〕■文 ■丙辰参	大正5年	横半帳	1冊	—	—	—	—
163	明治四十四年丙一月■金 入■	明治42年	横半帳	1冊	—	—	—	—
164	〔 〕年 ■文帳〔 〕	—	横半帳	1冊	—	—	—	—
165	菊池益二郎 十二月帖 下 〔書出帳〕	(未詳) 12月 (近代)	縦帳 横半帳	1冊 1冊	菊池益二郎	—	自然のことについて手習いか 入名・金額書き上げ	— 表紙破損
167	大正拾年八月 書出帳 山 田 西谷 山南	大正10年8月	横半帳	1冊	—	—	—	—
168	大正拾年 酒類御通 永田 善三郎様 山田 西谷	大正10年	横半帳	1冊	—	永田善三郎	—	—
169	血統書	明治41年11月20日	一紙	1通	岡山県種番場	小田郡小田村 立間 渡三郎	社牛1頭の血統証明	(貼紙)「四四四 小田郡小田村 立間渡 三郎」
170	〔表紙・裏表紙〕	(未詳)	縦帳	1冊	—	—	表紙・裏表紙のみ	内側に「good」とあり、表紙・裏表紙のみ
171	〔罫紙〕	(近代)	一紙	1枚	—	—	—	枠外に「上」とあり
172	〔依頼書〕	(近代) 12月28日	一紙	1通	芦田郡福田村副戸長 武安 与五兵衛	下道郡会議所 詰合	村方お達し下さりたいことにつき	—
173	〔菊池蒙太郎宛妹尾完次郎 書状〕	(近代) 12月29日	一紙	1通	妹尾完次郎	菊池蒙太郎	選挙で決定した観光社の役員について承知 してほしいこと、親睦社費用別紙の通り別 紙したので承知してほしいこと	—
174	〔師範学校編輯 小学読本 一〕	明治16年4月25日	縦帳	1冊	—	—	社会などの小学生に対する指導内容	裏表紙「岡山県備前国菊池金兵衛」
175	〔文部省編纂 翻刻 日本 地誌略二 明治七年八月改 正 横王固鉄 日本地誌略 巻之二〕	明治11年6月29日	縦帳	1冊	—	—	地理学に関する内容	書き込みあり、裏表紙「山田村 菊池貞兵 衛」
176	〔漢詩書付〕	(未詳)	一括	1まとめ	—	—	—	2枚を1まとめとして扱った。
177	小学読本 二	(近代)	縦帳	1冊	—	—	—	「西谷山歩田 菊池貞兵衛」
178	イギリス三体五十韻	(近代)	縦帳	1冊	—	—	—	—
179	〔吉祥寺土方丈宛熊之進書 状〕	(未詳)	一紙	1通	熊之進	吉祥寺 土方丈	和平の娘みわの一件について双方がもらい 受けること	同じ内容の物が2通あり
180	〔封筒〕	(近代)	封筒	1点	—	—	筑摩県庁飛騨国大野郡の村々が合併する旨 を記した書付を用いている。	包紙のみ、書付の裏面を使い封筒を作っ ている
181	第貳九号 明治八年十一月 第百■拾三号布告 西洋形 日本船各開港場出入規則第 五條左ノ通改正候條此旨布 告候事	明治9年3月10日	一紙	1通	太政大臣 三条実美	—	西洋式の船舶が入港する際の規則の改正に ついて	—
182	〔手習帳〕	(近代)	縦帳	1冊	—	—	漢詩の書き取り	—
183	修身兎別 四	(近代)	縦帳	1冊	—	—	—	「菊池貞兵衛」
184	覽	亥(近世) 12月5日	一紙	1通	蓮上方	山田村庄屋中	水車運上として5匁受取	—
185	〔占い関係書付〕	(未詳)	まとめ	1まとめ	—	—	友引日毎月事などの書き付けあり	4通が重なっている
186	記	子(近代) 1月	一紙	1通	留三	山田村菊池	品物代金書付	—
187	記	(近代) 10月28日	一紙	1通	渡辺近一郎	菊池	金30匁と手形4つを差し出す	—
188	〔運賃賦貸書付〕	(近世)	一紙	1通	—	—	運賃賦貸として68匁7分7厘を徴入	—
189	覽	(近代) 8月3日	一紙	1通	高梁 成原(柴原カ)宗助 (カ)	山田村 菊池	金100匁などを差し上げたこと	—
190	〔明治二年巳二月 備中何 郡何村神道入前御改帳〕	明治2年2月	縦帳	1冊	備中国上房郡原西村 神道 常須 藤森豊後	役所	切支丹の人数把握について、家族構成の書 き方を示す内容	—
191	緒言	明治14年1月	一紙	1通	堤正勝	—	修身学の内容に関する解説	原稿用紙使用
192	〔菊池義太郎宛横岸直七書 状〕	(近代) 5月1日	一紙	1通	横岸直七	菊池義太郎	見舞いに行くつもりだったが雨天のため菓 子を送ること	上書「菊池義太郎様 横岸直七 急用」
193	〔菊池義太郎宛弘文社業 書〕	明治11年12月	一紙	1通	弘文社	菊池義太郎	備前新聞第46号から第53号までの料金(18 銭8厘)の送金願い	—
194	〔菊池宛神崎吟助書状〕	(近代) 5月7日	一紙	1通	神崎吟助	菊池	宇津神社の受け渡しについて	—
195	記	(近代) 7月24日	一紙	1通	松森栄三郎(カ)	菊池良策	笠岡から御用金一封を至急送るよう依頼	—
196	西洋形船舶長運転手及機 関手試験免状規則追加	明治9年6月28日	縦帳	1冊	太政大臣 三条実美	—	—	第16大区下道郡に属する17の小区の戸長、 副戸長34名の名前を記す
197	〔名前書上〕	(近代)	一紙	1通	—	—	—	継ぎ外れ
198	〔菊池義太郎宛友澤修治書 状〕	明治10年9月20日	一紙	1通	友澤修治	菊池義太郎	友澤より菊池へ金5匁を納める	—
199	〔帳簿〕	(未詳)	横帳	1冊	—	—	—	白紙4丁

番号	標題	年代	形態	数量	差出	宛名	内容	備考
200	〔合類鍼灸 卷二 六十九頁〕	(未詳)	一紙	1枚	—	—	熱血室について	綴じ外れか
201	〔拜星 粗酒 山崎安沙二〕	(未詳)	一紙	1枚	—	—	将棋を用いての賭け事の内容を記す、コマの動きについて詳細に書かれている	—
202-1	〔菊池宛毛利当三書状〕	(近代) 閏1月1日	一紙	1通	朝惣堂 毛利当三	菊池	品物を購入した代価を支払ってもらえず、とても困惑しているため、支払ってほしいことにつき	202-1~202-2封筒一括、封筒上書「山田村菊池村 御直披 朝惣堂 毛利当三拜」、封筒裏書「熊入」
202-2	記	子(近代) 閏12月	一紙	1通	朝惣堂	菊池	3円91銭8厘のうち2円は正月に受け取ったこと	—
203	弘化二年巳三月 外郡組 御休酒御贈道法書上	弘化2年3月	横帳	1冊	—	—	領主の領内巡視の際の休憩地、宿泊地の書付	—
204	〔菊池承太郎宛久代保長書状〕	(近代) 9月20日	一紙	1通	久代保長	菊池義太郎	渡辺権六が参り逗留しているため、早く帰村してほしいことにつき	上書「玉嶋二而 菊池義太郎様 当月 久代保長」
205	■(借)用銀子之事	明和9年8月22日	一紙	1通	三田村庄屋金兵衛、口入同村惣四郎	美袋村久三郎	銀200目受取	端裏書「美袋 戻り証文」
206	■御問奉申上■之通	(近世)	一紙	1通	—	—	家図を再見の上決心されたきこと、布類代金書き上げ	—
207	象形記号之解	(近代)	一紙	1通	—	—	表：英語の現在形・過去形・過去分詞形、中：アラビア数字・ローマ数字一覧、裏：数学記号	—
208	〔手習い書付〕	(近代)	一紙	1通	—	—	手習い	習紙使用
209	地下不足覚	(近世)	一紙	1通	—	—	横役や小物成の不足分一覧	—
210-1	借用手形之事	文久3年11月	一紙	1通	正田村 菊池義太郎、証人同村菊池茂登喜	酒津村 梶谷健蔵	酒造仕込みのために借用した正金50両を期日までに返済すること	210-1~210-2封筒入り、封筒上書「酒津村 梶谷健蔵と金五拾兩借用云々書類」、210-1は包紙あり、包紙上書「取かへ 金五拾兩 菊池茂登喜江健蔵分」
210-2	記	辰4年(慶応4)正月	一紙	1通	梶谷健蔵	友澤保治	菊池父子に貸した金が明示8年から返済が滞っているが、元金は受け取っているため、その分の証文を後で渡すこと	—
211	借用申証文之事	明治4年11月	一紙	1通	中間 丸池助吉	木口儀太郎	金1両借用	司丁の裏書きあり、封筒上書「高梁 丸池助吉 取かへ 金壹円書類入」
212	〔菊池宛板野寿太郎書状〕	(近代) 9月15日	一紙	1通	上秦副局長板野寿太郎	菊池	清酒営業人についての書類を出してほしい事、税については懇諭した上で取り次いでほしいことにつき	—
213	師範学校編輯 萬国史略	明治6年8月	縦帳	1冊	—	—	—	文部省師範学校御蔵版、官許翻刻製本発売所、第一巻
214-1	〔借用金返済通し〕	(明治6年)	一紙	1通	—	—	金7兩2歩を酉年と戌年の2年で返済すること	214-1~214-2一括
214-2	御請書	明治6年12月	一紙	1通	—	—	金75兩を拝借、うち37兩2分は返済免除のことなど	—
215	〔白紙〕	(未詳)	白紙	1枚	—	—	—	—
216	〔書付〕	(未詳)	一紙	1通	—	—	「未諸帳面入 下道郡山田村」の書付あり	—
217	〔覚〕	(近世) 12月12日	一紙	1通	猪兵衛	菊池	世話人より村請の年々支払い銀を決算してお渡しすること	関連する証拠書類の貼付あり、縫外れ
218	〔合類鍼灸抜萃〕	(未詳)	縦帳	1冊	—	—	—	—
219	〔袋〕	(未詳)	袋	1点	—	—	—	—
220	〔金銭書付〕	(明治)	一紙	1通	—	—	合計金70円などの書付あり	—
221	〔金銭書付〕	(未詳) 成年2月	一紙	1通	—	—	—	—
222	〔久代村大石旧大参事の選挙につき村々井三島先生御相談〕	(近代)	一紙	1通	—	—	—	—
223	元治元年丑三月 砂糖黍素ヨリ取越目方留帳	元治2年3月	横半帳	1冊	—	—	—	2つ折りの上、紙紐で括り有るも破損
224	〔増訂 小学読本 高等科巻一 内田嘉一纂述〕	明治20年7月29日	縦帳	1冊	—	—	—	裏表紙「菊池」、編者：千葉県平民内田嘉一、出帆人東京府土原宗三郎
225	記	巳(近代) 年1月	一紙	1通	矢掛町 高草常太郎	下道郡山田村 菊池儀太郎	水20本、虫下葉50など合計2円3銭分お送り下されたきことにつき	—
226	〔算用書付〕	(未詳)	一紙	1通	—	—	「計三百四拾五匁七分三厘」との書付あり	後半開披不能、虫損甚大
227	〔覚・書状類〕	(近世)	一紙	1通	—	—	代金受取覚、菊池熊之進宛書状など	10通を貼り合わせている
228-1	借用申証文之事	安政6年	一紙	1通	百瀬銀蔵	菊池儀作	来る10月限りで金2両を借用	228-1~2包紙一括、包紙上書「明治十一年元高梁土族百瀬氏江金貳兩取替手形入 当時賢と改名訓導相助居申候也 貞七月改」、228-1端裏書「松山 御家中 百瀬氏金貳兩之手形」
228-2	借用申証文之事	安政未(6)年11月9日	一紙	1通	百瀬銀蔵	菊池儀太郎	金2両借用につき	—
229	〔罪科のことにつき来訪依頼の事〕	(未詳) 7月31日	一紙	1通	三宅貴一	菊池義太郎	—	—
230	〔手習〕	(近代)	縦帳	1冊	—	—	姫井良天などの書付あり	—
231	小学読本 卷三	(近代)	縦帳	1冊	—	—	—	「菊池貞兵衛」
232	乍恐手續口上書	(未詳)	縦帳	1冊	—	—	—	難住人への御教米等のことにつき
233	〔算用書付〕	(安政)	横半帳	1冊	—	—	—	金計86兩12分7分8厘
234	〔備中国内各藩瀧札〕	享保15~寛政9年	一紙	6枚	—	—	備中松山藩札3枚(寛政9年)、備中足守藩札1枚(享保15年)、不明2枚	6枚一括
235	〔書状〕	(未詳)	一紙	1通	—	—	1桶をお目にかけたきことにつき	—
236	地理初歩 明治七年改正	明治7年8月	縦帳	1冊	—	—	—	北条県下の地理初歩の教科書、師範学校編輯
237-1	記	(近代)	一紙	1通	—	—	—	大行事職を無くすこと
237-2	追達	(近代)	一紙	1通	第十六区下道郡副区長菊池義太郎	郡務所	盗難届3通ほか追達	—
238	〔代金書付〕	(近代)	一紙	1通	—	—	—	宗代1銭ほか代金書付
239-1	〔菊池義太郎宛大西常忠書状〕	(近代) 6月2日	一紙	1通	大西常忠	菊池義太郎	久保仁兵衛殿料につき速やかに取立を願うこと	239-1~2包紙・紙紐一括、包紙上書「玉島村 菊池義太郎様 山田村ニテ 大西常忠 大至急御直披」
239-2	〔菊池義太郎宛大西常忠書状〕	(近代) 7月27日	一紙	1通	大西常忠	菊池義太郎	久保仁兵衛殿料につき女性問題等で疲弊により金10円拝借したきこと	挟み込みあり、明石儀太郎殿料につき先般処罰を受けた旨
240	武鑑	延宝3年10月	横半帳	1冊	—	—	大名一覧	延宝3年10月改定
241	和歌読方記巻之四	元禄2年	縦帳	1冊	—	—	—	—
242	小学読本 卷二	明治20年4月26日	縦帳	1冊	—	—	—	裏表紙「菊池金兵衛」
243	〔謡本〕	貞享2年5月	横半帳	1冊	—	—	—	親世当流の謡本
244-1	式拾ヶ年切實地書入借用証文事	嘉永2年11月	一紙	1通	借用主花光寺、証人福田孫左エ門	東庄蔵	金80兩借用につき	244-1~2巻き込み一括
244-2	借用覚	亥(近世) 8月25日	一紙	1通	悦達僧	菊池義太郎	—	金1両借用につき
245	小学読本二	明治8年	縦帳	1冊	—	—	—	表紙「菊池貞兵衛」、裏表紙「小学読本の二」
246	国姓節合載	(未詳)	縦帳	1冊	—	—	—	—

番号	標題	年代	形態	数量	差出	宛名	内容	備考
247	〔日記〕	明治19年	縦帳	1冊	—	—	—	裏表紙「備中国下道郡山田村菊池貞太郎」
248-1	宇津神社へ参詣入費	(近代) 3月21日～30日	一紙	1通	—	—	宇津神社参詣にかかった費用金 3円39銭1厘	248-1～2包紙一括、包紙上書「宇津神社参詣入費」、包紙中「氏神賀茂社寺備中国下道郡本庄村」
248-2	〔代金書付〕	(近代)	一紙	1通	—	—	—	—
249	〔源平絵図〕	(未詳)	縦帳	1冊	—	—	—	—
250	〔菊池福田塚書状〕	(近代) 2月28日	一紙	1通	福田塚	菊池	本を持ってくるよう促している	端裏書「菊池君 福田塚」
251	〔琴の奏法などについて〕	(未詳)	一冊	1冊	—	—	—	—
252	〔証文・手紙類春物〕	(未詳)	巻物	1巻	—	—	—	—
253	〔カタカナ等の手習い3枚〕	(近代)	一紙	3枚	—	—	—	菊池初恵書
254	〔下等小学・初等小学校卒業証書〕	明治14年12月13日～同18年	一括	6通 (1包)	岡山県下道郡第11番学区弘道小学校	岡山県平民菊池貞兵衛	下等小学第六級、小学初等第四～第一級卒業証書	封筒上書「菊池貞兵衛」
255	〔手習い〕	(近代)	一紙	1通	—	—	—	—
256	記	(未詳)	一紙	1通	宇津神社入用	—	—	—
257	亥八月十五日江戸日本橋張紙之写	亥(文久3ヵ)年8月15日	縦帳	1冊	—	—	幕末の動乱について、尊攘攘夷、天皇毒殺未遂、幕府・將軍家の苦境、薩長、長州戦争など	—
258	〔手習い〕	(未詳)	一紙	1通	—	—	—	—
259	〔手習い〕	(未詳)	—	—	—	—	—	—
260	〔手習い〕	(未詳)	一紙	1枚	—	—	—	—
261	〔手習い〕	(未詳)	一紙	1通	—	—	—	—
262-1	〔菊池茂登助宛渡辺九兵衛書状〕	(近世) 7月11日	一紙	1通	渡辺九兵衛	菊池茂登助	遊行郡割銀について盆後にまとめて渡すつもりであること	262-1～13包紙一括、(包紙上書)「嘉永7年 遊行上人様御来二付人馬仕出帳入寅六月 山田村」、262-1上書「菊池茂登助様 渡辺九兵衛 要用書」
262-2	覚(手廻の借用願い)	(近世) 6月1日	一紙	1通	美袋村御用懸り	山田村庄屋	手廻をあるだけ全部借りたいこと	—
262-3	覚(遊行上人巡来にともなる出帳に関して)	申(近世)年4月	一紙	1通	菊池茂登助	渡辺九兵衛、田辺和右衛門	そちらから受け取った額を各村に分配したが、余ったのでまた受け取ってほしいこと	—
262-4	〔菊池茂登助宛渡辺九兵衛書状〕	(近世) 6月6日	一紙	1通	渡辺九兵衛	菊池茂登助	明日7日の朝に遊行上人が上秦川原までやってくるため人足44人と馬2匹などを用意してほしいこと	(上書)「菊池茂登助様 渡辺九兵衛 大急用」
262-5	覚(遊行上人の割銀余分について)	申(近世)7月17日	一紙	1通	山田村庄屋 菊池茂登助	遊行御懸り 田辺和右衛門	辰年から申年まで毎年納めてもらった分、139匁9分9厘が結局余りとなったので受け取ってほしいこと	(上書)「遊行御懸り 田辺和右衛門様」
262-6	〔人名行先書上〕	(近世) 6月1日	一紙	1通	—	—	15人の名前および馬方5人、孫左衛門が総社や美袋に行っていること	—
262-7	覚(遊行上人の割銀不足について)	未(近世)12月	一紙	1通	田辺和右衛門、渡辺九郎兵衛	菊池茂登助	525匁9分1厘納めてもらいたいのところ、154匁1分1厘不足しているため、早々に納めてほしいこと	(上書)「未十二月 遊行上人 入用郡割」
262-8	覚(借用物の返品について)	(近世) 6月6日	一紙	1通	美袋村掛り	山田村庄屋	帽台や煙草盆、袴、蚊帳など、借りていたものを返すため確認のうえ受け取ってほしいこと	—
262-9	〔山田村の入用内証書上〕	申(近世)7月	一紙	1通	—	—	馬5疋で70匁など	—
262-10	〔遊行上人関係金銭書付〕	(近世)	一紙	1通	—	—	義太郎が250匁借用したことなど	—
262-11	〔遊行上人巡来に伴う人馬仕出帳〕	嘉永7年6月	横帳	1冊	—	—	金額と名前書き上げ(美袋村)	(上書)「遊行上人様巡来二付人馬仕出帳 嘉永七年寅六月 下道郡山田村」
262-12	〔遊行上人巡来に伴う人馬仕出帳〕	嘉永7年6月	横帳	1冊	—	—	金額と名前書き上げ(八田部村)	(上書)「遊行上人様 御来二人馬仕出帳 嘉永七年寅六月 下道郡山田村」
262-13	〔遊行上人巡来に伴う人馬賃銭帳〕	安政2年7月12日	綴り	1綴り	—	—	複数の村につき金額と名前書き上げ	(上書)「遊行上人様 御来二人馬賃銭帳 安政二年卯七月十二日 山田村」
263	〔紙袋〕	(未詳)	袋	1点	—	—	—	袋上書「ケマキ吾本二付イ■ 清浄生帳帳」、木3本入り
264	〔代金書付〕	明治3～同7年	一紙	1通	—	—	計21円52銭1毛	—
265	証	(近代)	一紙	1通	柳宿仁科砂太郎	下道郡山田村戸長 菊池義太郎	金10円受取	—
266-1	〔代金書付〕	(近代)	一紙	1通	—	—	—	虫損大
266-2	〔書状〕	辰年9月29日	一紙	1通	漢屋秀吉	菊池御十	たばこ30、83銭など代金書付	—
266-3	覚	慶応3年11月	一紙	1通	新庄村山本陽平	山田村菊池義太郎	米の儀の運送の詫げ 米30石借用	包紙上書「書附巻通 至山本氏」
266-4	覚	(年未詳) 12月～1月26日	一紙	1通	—	—	山田年貢5石6斗2升5合9勺	—
266-5	覚	(近世)	一紙	1通	山崎支所	菊池義太郎	山田温米8石6斗3升4合2勺、代銀6匁642匁4分1リ	—
266-6	〔米代書付〕	(近世)	一紙	1通	—	—	米20石代金220両	—
266-7	覚	貞(近世)年6月	一紙	1通	—	—	入金150両(借用)など金書付	—
267	〔鎌倉三代記〕	(未詳)	縦帳	1冊	—	—	—	表紙に記述あるもほぼ判読できず
268	〔書付〕	(未詳)	一紙	1通	—	—	—	—
269	〔奥田大先生宛東正造書状〕	亥(近代)1月6日	一紙	1通	東正造	奥田大先生	酒造組合をはじめたところ、私身分に支障あり、退身して算用方になったが、双方心配もあったので、旦那様から菊池君に移ってもらおうようお願いしてほしいこと	(封筒上書)「奥田様 東正造 要用御願書」
270	〔白紙〕	(未詳)	一紙	1枚	—	—	—	記述なし
271	儀講規則帳	明治3年11月	縦帳	1冊	—	—	講元三宅右衛門、金預り引受木谷隆四郎、世話方引受三宅清作ほか寄付者5名	—
272	〔小学読本表紙〕	明治7年8月	一紙	1枚	—	—	「菊池仇一郎」の所有	—
273-1	〔菊池義太郎宛牧丈平書状〕	(年未詳) 7月26日	一紙	1通	牧丈平	菊池義太郎	先般拝借の件差返しにつき、速島尾高氏の便に託して返上	273-1～2紙紐一括
273-2	〔山田西谷酒場宛若屋書状〕	(年未詳) 8月1日	一紙	1通	玉島 若屋	山田 西谷酒場	運賃・船賃につき	(端裏書)「山田西谷酒場様 玉島若屋 要用書」
274	〔通達〕	明治8年10月	一紙	1通	司法卿大木喬任	—	福島上等裁判所が宮城に移るので、福島高等裁判所を25日に閉庁し、宮城上等裁判所を11月2日に開庁することにつき	印刷物、日付部分が破れており判読できず
275	消息文	(未詳)	縦帳	1冊	—	—	—	表紙上書に「菊池益二郎」とあり。
276	〔品物の書付〕	(近世)	一紙	1通	—	—	板野氏へ返す品物について	下部破損
277	〔金額・人名書上〕	(未詳)	一紙	1通	—	—	上に金額、下に人名が書かれている	—
278	記	(近代) 12月20日	一紙	1通	菊池義太郎	福田房太郎・東正造・福田雄次郎他5名	会社二納金入金につき、東正造一口10円ほか	—
279	〔包紙〕	(未詳)	包紙	1点	—	—	—	中身なし、紙紐がついている
280	〔三宅半平宛菊池義太郎書状〕	(近代) 9月17日	一紙	1通	菊池義太郎	三宅半平	一昨日の元利差出の儀について書付を頼みたいことにつき	紐ぎれあり、2枚1通。
281	〔田地売買の際の注意事項〕	(近世)	一紙	1通	—	—	観谷一伴に關連して、田地の売買における注意事項が述べられている。不都合が生じたとき買主の房治郎に聞いたら解決したことなど	—
282	〔袋〕	文政9年10月	袋	1点	—	—	中身なし	(袋上書)「文政九年戌十月 遊行上人御巡来之前書類入 御用書 山田邑庄屋熊之進」

番号	標題	年代	形態	数量	差出	宛名	内容	備考
283	〔菊池宛柴原宗助書状〕	(近代) 8月23日	一紙	1通	柴原宗助	菊池	賈物代残金ならびに金100円、利金10円	—
284	〔金子借用証文雛形〕	(近代)	一紙	1通	—	—	惣代3名宛て、本年11月30日までに元利含め 皆済するつもりであること	—
285	〔袋〕	明治13年3月	袋	1点	—	—	—	中身なし、(袋上書)「明治十三年辰三月 友沢保治 梶谷健蔵 右両名書類入」
286	〔願立書上〕	(近代)	一紙	1通	—	—	并、いかのあへもの等	—
287	〔守り札カ〕	(未詳)	—	1点	—	—	—	包紙に色紙が2枚入っている
288	記	(近代)	一紙	1通	—	—	学務課よりの連絡、金銭書付関係	下部欠・後欠
289-1	〔砂糖種黍植付方心得〕	元治2年3月	横半帳	1冊	—	—	砂糖を栽培する際の種を植える間隔や肥料 の使用量など	綴り細に289-2が折り付けられている。(上 書)「元治貳年 砂糖種黍植付方心得 丑 三月酉谷」
289-2	〔砂糖栽培における肥料の 使用量など書付〕	(元治2年3月)	一紙	1通	—	—	「つきごえ 白粕三俵」など、1反につき必 要な肥料量の書き上げなど	—
290	記	(近代) 4月27日	一紙	1通	郡務所	会議所	改正局から大袋1つを区長取引として、郡務 所より会議所引を2つ送ることにつき	継ぎ外れあり、3枚1通。
291	覚(公債証書買上願の送 達)	(近代) 6月15日	一紙	1通	詰合	下道郡会議所	大石様宛てに公債証書買上願を送達したこ と	—
292	〔書状〕	卯年4月29日	一紙	1通	—	—	講金の儀につき困っている旨など	前欠、継ぎ外れ
293	記(金の受取につき)	明治17年旧11月20日	一紙	1通	備中上房郡吉川村藤田 辻 田才吉	山田村 菊池良作	杉1本・舟代金7円50銭の内5円50銭を受取、 残りは2円になったこと	—
294	〔甲第十四号布達〕	明治8年11月18日	一紙	1通	—	—	各人民による院省使府等に対する訴訟受 理の義につき、本年甲第五号をもって布達 したところにより、今人民から開拓使に対 する訴訟が東京上等裁判所に受理されたこ とを布達。	「菊池貞兵衛」右ノ通御布達ニ付無遺漏速 ニ可触示者也 明治八年十一月十八日 小 田県参事 益田包義
295	仕切(品物と金額書き上 げ)	戊(近代) 11月8日	一紙	1通	取調屋	基太郎	本などの品物と金額の書き上げ	—
296	覚	(近代)	一紙	1通	—	—	「金五十兩辰ミヤ」など書付	—
297	誌	(年未詳)	一紙	1通	—	—	べにももめん1丈3尺5寸など衣服類書付	—
298	〔菊池茂登介・田中平助宛 寿太郎書状〕	(年未詳) 7月9日	一紙	1通	寿太郎	菊池茂登介・田中平 助	村中がことのほか不穏でいずれにも悪断に も御蔵料が下されたことなど。	前欠
299	〔菊池義太郎宛津津義忠書 状〕	(近代) 10年8月20日	一紙	1通	津津義忠	菊池義太郎	10年分の地券の収納方について会合開く場 合は戸長の許可を必要とし、無許可で行う と罰せられること	—
300	〔書状〕	(近代) 10月1日	露紙	1通	—	—	彼に参上して下さったことの御礼、田 書を認めたので差し出すこと、大小区宅地 番号を書き入れてほしいことなどにつき	—
301	〔右村々戸長宛別区长書 状〕	(近代) 8月5日	一紙	1通	副区長	右村々戸長中	願いの義につき印形が入用のため正副戸長 の印形を持参のことにつき	—
302	覚	(近代)	一紙	1通	—	—	元利金受取	破れ、破損甚大
303	〔病気の治療法〕	(近代)	一紙	1通	—	—	「脳イタミ」、「喘息」などの記述あり	—
304	乍恐口上	(近代)	一紙	1通	—	—	民事御役所宛て、酒造高八拾石御鑑札老枚	中央部大幅に欠損
305	〔短歌〕	(未詳)	一紙	1通	—	—	豊辰の作	—
306	〔漢字書付カ〕	(近代)	一紙	1通	—	—	手習いか	—
307	〔封筒〕	(近代)	封筒	1点	副戸長 高戸順郎	菊池	—	中身なし、(封筒上書)「菊池様 伺書 副戸長 高戸順郎」
308	〔持馬についての相談に対 しての返答〕	(近世) 10月7日	一紙	1通	—	—	持馬について、阿州へ行くつもりだった が、延期した後行かないこととしたこと、 番段の決め方についてなど	前欠
309	〔包紙〕	(近代) 7月31日	包紙	1点	浅口郡連島村 三宅光次	下道郡山田村 菊池 義太郎	—	中身なし、(包紙上書)「七月三十一日書 下道郡山田村 菊池義太郎様 要用書 浅 口郡連島村 三宅光次」
310	〔菊池義太郎宛行岡泰三郎 書状〕	(近代) 5月5日	一紙	1通	行岡泰三郎	菊池義太郎	酒の件などにつき	破損甚大
311	記	(年未詳) 11月19日	一紙	1通	—	—	下道郡下原村、返り廻上2通等を違わしたこ と	—
312	〔書付〕	(未詳)	一紙	1通	—	—	「同宗 年四十四 定六」など、宗門・年 齢・性別・名前などの書付	—
313	〔米書付〕	(年未詳) 12月26日	一紙	1通	—	小左衛門	米4斗1升運賃に受取	—
314	〔熊之進宛九郎兵衛書状〕	(未詳)	一紙	1通	九郎兵衛	熊之進	仰っていた梅引上人様の御同人記の儀に ついて出会の儀を承知したことなど	(上書)「熊之進様 九郎兵衛 用答」、 後欠
315	〔菊池父上宛菊池三郎兵衛 書状〕	(年未詳) 4月27日	一紙	1通	菊池三郎兵衛	菊池父上	祝年につき吉庄屋・婦人招来のことなど	前部破損
316	〔菊池義太郎宛書状〕	(近代)	一紙	1通	—	菊池義太郎	—	破損甚大
317	〔地券証の認め替えと金子 につき書付〕	(近代) 10月30日	一紙	1通	—	—	惣代を呼んで諸事仕らせ、証書の認め替え をさせることなど	破損甚大
318	〔書付〕	(年未詳)	一紙	1通	—	—	手習い	破損甚大
319	〔上京に出張する人に対し ての情報伝達〕	(近代)	一紙	1通	—	—	上京へ出張するにあたり必要な集議で決 まった土地関係の話を共有しておくことな ど	後半部分欠損
320	〔書状〕	(近世)	一紙	1通	—	—	米直段の儀につき蔵米にて30俵につき金20 兩2歩くらいだが、これでは売れないので意 見を求めることなど	前欠
321	〔封筒〕	(未詳)	封筒	1点	岡田卯 吉村源蔵	■田村 菊池	—	(上書)「■田村 菊池様 別紙在中」、 (裏書)「從岡田卯 吉村源蔵」、(封筒 表貼紙書付)「吉村源蔵 算用書入」
322	〔木札〕	(未詳)	木札	1点	—	—	「山田村 高炊丈平」	—
323	〔山田村菊池宛新本村小野 書状〕	(近代) 1月20日	一紙	1通	新本村 小野	山田村 菊池	書面への感謝を承知した旨	—
324	〔漢詩カ〕	(近代) 壬戌年7月	一紙	1通	—	—	「東望夏、口西望、武昌山」など	後半部分欠損
325	〔合帳絵図〕	(未詳)	絵図	1点	—	—	—	—
326	〔木札〕	明治5年5月10日	木札	1点	—	—	賀茂社氏子菊池義太郎の出自など、神官は 大月美辰と稱正造	—
327	〔包紙〕	(未詳)	包紙	1点	—	—	絵入り	(上書)「■田ニテ 菊池様 ■室東庵 至急御依頼書」

【凡例】

- 原則として、目録上の表記には常用漢字を用い、異体字・変体仮名・旧字体などは適宜改めた。
- 標題については、原標題がある場合にはそのまま記し、原標題がない場合には〔 〕にて適切な標題を加筆した。
- 年代と月日は、作成年代が明記されている場合にはこれを記し、印鑑・消印等から年代が推定できる場合には()にて推定年代を記した。
- 目録全体において、傍線で記している項目は、史料上に記載がなく不明な箇所、あるいは煩雑になるため記載を省略した箇所である。
- 史料の欠損等により判断が不能な箇所については、〔 〕(複数文字と思われる場合)や■(一文字と思われる場合)と表記した。
- 浅野家文書の内容や当時の歴史的状況を正確に伝えるため、基本的には史料上の記述を目録上にもそのまま記した。あくまでも学術的見地から上記のような処置を行ったものであり、このことを十分に理解いただきたい。